

セメント・同製品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	コンクリート製造工場内で、コンプレッサーの電源を切るために移動中、床（土場）に氷が張っていたため足を滑らせ、臀部と左手を床（土場）について転倒し、左手を負傷した。	66	1~9
1	13~14	当社事業場内においてミキサー車の洗車作業をしていたところ、寒さのため路面が凍結しており、足を滑らせ転倒した際にミキサー車のシュート部分に胸を強打し受傷した。	51	~29
1	16~17	作業場兼資材置き場の掃除をしていたときに躓いてしまい、積んでいたコンクリートの塊（約60cm×60cm×90cm）で胸を打ち、負傷してしまった。	39	—
2	22~23	被災者はフレコンが積まれたパレットを所定の場所に準備したが、他部品の投入状態が気になり確認に行くためパレット横を通過しようとしたところ、パレットの角に右足を引っ掛けて転倒した。転倒の際、咄嗟に左手をついて全体重が掛かり左手を負傷した。同時に右膝を床面に強打し負傷した。	59	~299
2	14~15	組立鉄筋移動作業時、クレーンのペンダントを掴みに行こうとした時に足元の型枠に右脚を引っかけ左足の膝を土間に打ちつけ転倒負傷した。	66	—
3	14~15	歩いていたところ、廃材から出ていた番線に足をひっかけて左肩から転倒した。	60	~49
3	13~14	仕事を終え、残水処理場において洗車中に、足を滑らせ手をついたときに左手薬指を負傷した。	65	~29

3	10~11	被災者は歩行にて作業場へ移動をしている際に、15cmぐらいの段差がある段差がある所につまずき、左足部を打った。	63	1~ 9
3	10~11	工場内大型製品工場のコンクリート打設場に於いて、大型コンクリートブロック型枠へのコンクリート打設の準備のため、型枠が設置された鋼鉄製パレット上でコンクリート締め込み用バイブレーターの型枠への取り付け作業中、バイブレーターを抱えて右足を踏み下ろしたところ滑り転倒し、パレットで脛を強打した。	48	30 ~ 49
4	10~ 11	ネギトロを作成するライン上で、右方向から流れてきたネギトロが本人の左側にあるローラーによって平らにされるのだが、右側に気をとられて左手をついた所、ローラーに巻き込まれてしまった。	39	1~ 9
4	12~ 13	お昼休憩後、工場内において午後の出発に備え事務所から運搬車両に戻ろうとした際、車両駐車場手前にある排水溝（深さ7cm）に左足がはまり転倒し、左肩を強打した。	50	10 ~ 29
5	11~ 12	構内にて、生コンクリートミキサー車から降りる際、片足が浅い溝に入り転倒し、左手を地面につき、手首を骨折した。	56	50 ~ 99
7	15~16	工場内で、パネル仕上げ作業をするため、休憩室から隣の作業台に向かう移動中（約10m）、スポットクーラーのコードに足が引っ掛かり転倒する。その際右手肘をコンクリート床に強打し負傷する。	55	10 ~ 29
7	14~ 15	ミキサー車をコンクリート圧送用ポンプ車のホッパー部分に停車できるように誘導する作業を、建築現場にて行っていた。ポンプ車のホッパー内にはセンサーがついていて、生コンクリートが無くなると自動的にポンプが停止するが、そのセンサーが働かず、空気を空送りする状態となったので、慌てて異常停止ボタンを押した後、ポンプ車から下りる際にその段差により足を挫いた。	56	10 ~ 29
10	7~8	セメントサイロの隣の通路で、通行する時に、段差につまずいて前方に転倒し、右手で体を支えようと手をつけた時に、負傷した。	66	1~ 9
12	9~10	納入後、工場へ戻りホッパーを洗い、ステップを降りる際、一番下の最後のステップで滑り、地面に足を降ろした時に、右足を捻ってしまった。	53	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html